

10月1日、和太鼓倶楽部三光が、広島県共同募金会様の令和元年度共同募金運動開始イベントに出演致しました。

共同募金は、赤い羽根をシンボルとして、戦後、民間の社会福祉施設などに対する財政補填のために行われていた民間の募金活動を制度化したものです。

募金活動は毎年10月1日から3月31日まで実施されており、広島県共同募金会様では毎年10月1日に基町クレド前広場にて運動開始イベントを開催されております。

社会福祉法人 広島県共同募金会

<http://www.akaihane.hiroshima.jp/summary.shtml>



池谷公二郎会長のほか、湯崎広島県知事、松井広島市長もご出席されました。

和太鼓倶楽部三光は、「大地」「豊饒」の2曲をオープニングで演奏し、イベントを盛り上げました。



<大地>

デビュー曲である「大地」は、創業50周年を記念したオリジナル曲です。まっさらな大地に雨が降り、草木が芽吹き、やがて豊かな大地となる。当社も大地の様に発展していけるよう願いを込めた曲です。

<豊饒>

広島県出身のプロ和太鼓奏者である林 英哲氏作曲により、「新世紀・しまなみ海道事業」の「しまなみ創作曲」として誕生した曲です。

しまなみ海道をイメージして創られており、太鼓を島々に、奏者を橋に見立て、時には激しく、時には穏やかな瀬戸の海や、島と島、人と人との繋がり、更にはその繋がりによって地域が栄えていく様を表現しています。



和太鼓倶楽部三光は、当社の創業50周年記念式典を和太鼓演奏で盛り上げる為、社員で結成した倶楽部です。

現在部員は20名。20代～40代まで幅広い年齢層で構成されています。

